

各務原市消防のあゆみ



各務原市消防のあゆみ

昭和 38.4 稲葉郡那加町、稲羽町、鵜沼町、蘇原町を合併して、各務原市として発足する。

発足当時の消防団機構
消防団定員 818名

消防団名	人 員	消防ポンプ	手引ポンプ	小型ポンプ
那加消防団	217	2	2	13
稲羽消防団	235	1	1	17
鵜沼消防団	210	1	10	2
蘇原消防団	156	1		10

昭和 39.2 昭和39年政令第16号「消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める等の政令」により指定を受ける

昭和 40.1 従来の単位消防団を解散して市一本の消防団に統合し、少数精鋭主義による各務原市消防団を組織する

消防団定員 600名
初代消防団長 浅野 庄一
副団長 4名

種目	分団	1	2	3	4	5	6	7	8
消 防 部		2	2	2	2	2	2	2	2
分団員(分団長以下)		92	58	82	85	85	66	61	66
ポンプ操作班		10	4	8	8	8	6	5	6
警 防 班		1	1	1	1	1	1	1	1
ポンプ自動車			1		1		1	1	
小型ポンプ		10	3	8	7	8	5	4	7

昭和 40.3 「各務原市消防本部」及び「各務原消防署」を那加東垂町106番地(元那加町役場新館)に設置する
職員定員 26名 実員 23名

消防長 武藤 嘉一就任(市長兼務)
署次長 佐高 求 以下23名
岐阜市消防本部へ消防士17名消防技術修得のため教養生として20日間派遣する
国消型SSB無線電話装置購入(基地局1基、移動局2基)
消防ポンプ自動車(元消防団第2分団使用のもの)配置する

昭和 40.4 初代消防長 広瀬 伝就任(専任消防長となる。前市秘書課長)
職員 1名増員 1名退職 実員 23名

昭和 40.8 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ型)購入配置

昭和 41.4 職員定数改正 定員34名

昭和 41.6 第2種原付自動車(ホンダベンリー125cc)2台購入配置

昭和 41.7 トランシーバー3台、ライオンズクラブより寄贈を受ける

指令車(ニッサンパトロール)購入配置
消防庁舎を新築、那加桜町1丁目69番地へ移転する

庁舎明細		
構 造	望楼付き鉄筋コンクリート2階建	
契 約	昭和41年2月3日	
工 期	自 昭和41年2月5日	
	至 昭和41年6月15日	
設 計	大名設計株式会社	
	第一建設株式会社	
施 工	第一建設株式会社	
工 費	26,000千円	
面 積	1階	300.72 m ²
	2階	300.72 m ²
	R階	16.95 m ²
	延面積	618.39 m ² (187坪)

昭和 41.8 消防ポンプ自動車(ニッサンFG60型)購入配置

昭和 41.9 救急自動車(トヨタFS45V)購入、SSB無線電話機搭載

昭和 41.10 救急業務を開始する

レスキュー訓練を開始する

昭和 42.4 職員 6名増員 1名退職 実員 28名

職員定数改正 定員49名

2代消防団長 松岡 広吉就任

第16回 岐阜県消防操法大会を開催

昭和 42.5 消防長 広瀬 伝 収入役に選任のため解任

昭和 42.8	消防長事務取扱者	武藤 嘉一(市長兼務)			
	消防長事務取扱者	武藤 巖(市助役兼務)			
昭和 42.10	防煙マスク3個、各務原市石油組合より寄贈を受ける				
	2代消防長	浅野 秀雄就任(前市企画課長)			
昭和 43.5	職員	4名増員	3名退職	実員	29名
	職員	6名増員	3名退職	実員	32名
昭和 44.2	エンジンカッター(チェーンソー含む)ライオンズクラブより寄贈を受ける				
昭和 44.3	大型消防ポンプ自動車、日本損害保険協会より1台寄贈を受ける				
昭和 44.4	水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ型)購入、SSB無線電話器装備、東署へ配置				
	消防ポンプ自動車(ニッサンFG60型)購入、SSB無線電話器装備、東署へ配置				
	各務原消防署を各務原西消防署と改称				
	各務原東消防署庁舎竣工、開署式を執行、各務原市鵜沼羽場町1丁目181番地				
		庁舎明細			
	構造	鉄筋コンクリート2階建			
	契約	昭和43年10月11日			
	工期	自 昭和43年10月11日			
		至 昭和44年3月10日			
	設計	金華建設事務所			
	施工	株式会社 松原組			
	工費	19,000千円			
	面積	1階	304 m ²		
		2階	192 m ²		
		R階	15 m ²		
		延面積	511 m ²		
昭和 44.4	3代消防団長	横山 釦一就任			
	職員定数改正	定員37名			
	職員	15名増員	10名退職	実員	37名
昭和 45.2	超短波無線電話機携帯用2基購入				
	救急自動車(トヨタ)購入、東消防署へ配置				
昭和 45.3	超短波無線電話装置基地局及び移動局1基購入、消防本部、西消防署へ設置				
	水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ型)購入、西消防署へ配置				
昭和 45.4	東消防署救急業務開始				
昭和 45.6	指令車(ニッサンパトロール)購入東消防署へ配置				
昭和 45.12	救急自動車2台ピーパーサイレンに切替				
	超短波無線電話機移動局5基購入、西消防署全車に装備(SSB切替)				
	職員定数改正	定員44名			
	職員	13名増員	6名退職	実員	44名
昭和 46.3	消防ポンプ自動車(トヨタ)購入、消防団第7分団へ配置(更新)				
昭和 46.4	4代消防団長	長縄 正光就任			
昭和 46.6	各務原市危険物安全協会設立				
	査察車(軽四ホンダバン)2台購入、東西消防署へ各1台配置				
昭和 46.8	超短波無線電話機携帯用4基購入、東西消防署へ各2基配置				
	職員定数改正	定員56名			
	職員	16名増員	4名退職	実員	56名
昭和 47.5	スーパーカブ(ホンダ50cc)購入、西消防署に配置				
昭和 47.9	消防ポンプ自動車(ニッサン)購入、消防団第4分団へ配置(更新)				
昭和 47.10	超短波無線電話機、移動局4基購入、東消防署全車装備(査察車除く)				
昭和 47.11	消防ポンプ自動車(ニッサン)購入、消防団第2分団へ配置(更新)				
昭和 47.12	職員定数改正	定員80名			
	職員	12名増員	1名退職	3名出向	実員 64名
昭和 48.1	消防長	浅野 秀雄	市水道事務所に選任のため解任		
	3代消防長	阿部 玉三郎就任(前市長公室長)			
昭和 48.6	広報車(いすゞフローリアンバン)ロータリークラブより寄贈を受ける。				
昭和 48.8	救急自動車(トヨタ)購入、西消防署へ配置(更新)				
昭和 48.11	消防長	阿部 玉三郎	市建設部長に選任のため解任		
	4代消防長	大堀弘就任(前市建設部次長)			
昭和 48.12	西消防署庁舎増築				
	面積	1階	105.975 m ²		
		2階	105.975 m ²		
		R階	211.95 m ²		
昭和 48.4	職員	7名増員	1名退職	実員	70名
昭和 49.2	指令車(ニッサンパトロール)購入、西消防署へ配置(更新)				
	屈折はしご付消防ポンプ自動車(日野)15m級購入、超短波無線電話機装備、西消防署へ配置				

昭和 49.3	化学消防ポンプ車(ニッサン)購入、超短波無線電話機装備、西消防署へ配置 スーパーカブ(ホンダ50cc)購入、東消防署に配置 職員定数改正 定員92名 職員 14名増員 2名退職 1名出向 実員 81名
昭和 49.8	消防ポンプ自動車(ニッサン)更新、西消防署へ配置
昭和 50.4	職員定数改正 定員105名 職員 16名増員 実員 97名
昭和 50.7	水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)更新 西消防署へ配置
昭和 51.1	水槽付消防ポンプ自動車(三菱)購入、西消防署へ配置
昭和 51.2	折りたたみ式アルミ救助ボート 1隻購入、西消防署へ配置
昭和 51.3	超短波無線電話機移動局 1基購入、西消防署に配置
昭和 51.4	5代消防団長 牧田 忠男就任 各務原北消防署、開署式を執行 各務原市蘇原東門町3丁目49番地1 庁舎明細
	構 造 鉄筋コンクリート2階建(冷暖房設備付)
	契 約 昭和50年9月8日
	工 期 自 昭和50年9月27日
	至 昭和51年4月30日
	設 計 株式会社 大名建築設計事務所
	施 工 株式会社 坂口組
	工 費 71,800千円
	面 積 1階 334.06 m ²
	2階 207 m ²
	R階 17.5 m ²
	延面積 558.56 m ²
	水槽付消防ポンプ自動車、西消防署より北消防署へ配置換え スズキニューバーディ(50cc)購入、北消防署へ配置 査察車(軽四ダイハツフェローバン)購入、北消防署へ配置 16mm映写機一式購入、消防本部へ配置
昭和 51.6	4代消防長 大堀 弘 病気のため死去
昭和 51.8	超短波無線電話機(携帯局)2基、北消防署へ配置 5代消防長 佐高 求就任(前消防次長)
昭和 51.9	救急自動車(トヨタ) (財)日本消防協会より1台寄贈を受け北消防署へ配置
昭和 51.11	超短波無線電話機(積載携帯両用10w)4基購入、広報車、各署査察車(3台)に取り付け 職員 4名増員 1名出向 実員 100名
昭和 52.1	消防ポンプ自動車(ニッサンFH60、BD-1型)購入、消防団第6分団へ配置(更新) 超短波無線電話機(車載用10w)1基購入、北消防署救急車に取付 職員定数改正 定員110名 職員 11名増員 2名退職 1名出向 実員 108名
昭和 52.2	各務原消防設備から教材用粉末消火器4本寄贈を受け消防本部へ配置
昭和 52.3	超短波無線電話機(筒先連絡用0.1w)3基購入、各所に配置
昭和 52.4	査察車(軽四ダイハツフェローバン)2台更新 東西消防署へ配置
昭和 52.7	救急自動車(トヨタ)更新、東消防署へ配置
昭和 52.11	消防ポンプ自動車(ニッサンFH60、BD-1型)購入 北消防署へ配置
昭和 52.12	超短波無線電話機(移動局10w)1基購入、北消防署消防ポンプ車に取付
昭和 53.4	消防本部兼西消防署庁舎、改造防音工事 契 約 昭和52年10月12日 工 期 自 昭和52年10月13日 至 昭和53年3月24日 設 計 株式会社 玉田建築設計事務所 施 工 株式会社 沢井建設 工 費 40,582千円 面 積 697.5m ² 消防訓練塔建設(北消防署敷地内) 構 造 鉄筋コンクリート造4階建 契 約 昭和52年12月6日 工 期 自 昭和52年12月7日 至 昭和53年3月20日 設 計 株式会社 大名建築設計事務所 施 工 株式会社 東興建設 工 費 10,750千円 面 積 63m ²

安全ネット工事

契約 昭和52年12月13日
 工期 自 昭和52年12月14日
 至 昭和53年3月20日
 設計施工 株式会社 ウスイ消防
 工 費 2,250千円

- 昭和 53.6 指令車(三菱J44型)購入、東消防署へ配置(更新)
 昭和 53.7 指令車(三菱J44型)購入、北消防署へ配置
 消防ポンプ自動車(ニッサンFH-60, BD-1型)購入、東消防署へ配置(更新)
 昭和 53.8 水槽付消防ポンプ自動車(三菱FK115F, 水1-AC型)購入、東消防署へ配置(更新)
 屈折はしご付消防ポンプ自動車、オーバーホール
 昭和 53.10 超短波無線電話機(移動局10w)1基購入、北消防署指令車に取付
 市内消防団員600名にヘルメット貸与
 昭和 53.11 消防用サイレン無線(超短波)遠隔制御装置取付(親局1基、子局5基)
 自治体消防30周年記念第24回岐阜県消防大会を開催する。

- 昭和 54.1 超音波厚さ計 1台購入
 昭和 54.3 超短波無線電話機(携帯局1w)2台購入
 昭和 54.10 超短波無線電話機(移動局10w)7台更新
 超短波無線電話機(携帯局5w4台、1w4台)購入
 超短波無線基地局改造工事(2,210千円)
 広報車(トヨタ、カーリーナバン)1台購入、消防本部へ配置
 超短波無線電話機(移動局10w、車載携帯用)1基購入、消防本部広報車に取付
 昭和 54.12 各務原東消防署車庫建設

構造 鉄筋コンクリート造平屋建(一部中2階)
 契約 昭和54年8月3日
 工期 自 昭和54年8月14日
 至 昭和54年12月10日
 設計 葵建築設計研究室
 施工 株式会社 沢井建設
 工 費 25,400千円
 面積 304.5m²

- 昭和 55.3 職員定数改正 定員 125名
 職員 11名増員 実員 119名
 水槽付消防ポンプ自動車(三菱FK115-DD、水1-AC型)購入、南消防署へ配置
 超短波無線電話機(携帯局1w)2基購入、南消防署に配置

- 昭和 55.4 6代消防団長 柴山 三郎就任
 各務原南消防署 開署式を執行
 各務原市前渡北町1丁目4番地

構造 鉄筋コンクリート2階建(冷暖房設備付)
 契約 昭和54年8月13日
 工期 自 昭和54年8月14日
 至 昭和55年3月10日
 設計 大建設株式会社
 施工 建設工事 足立建設(株) 工賃 64,400千円
 電気設備工事 (株)ウヌマ電業 工賃 9,800千円
 給排水衛生設備工事 木野村(株) 工賃 12,300千円
 面積 1階 448.125 m²
 2階 221 m²
 R階 17.5 m²
 延面積 686.625 m²

- 昭和 55.5 査察広報車(軽四スズキキャリアバン)1台購入、南消防署へ配置
 スズキ(50cc)購入、南消防署に配置
 昭和 55.7 各務原市消防らっぱ隊編成
 昭和 55.8 冷暖房設備工事 東消防署(3,310千円)
 職員 5名増員 2名退職 実員 123名
 昭和 55.11 消防団長柴山三郎氏から消防らっぱ隊用楽器5点寄贈を受け消防本部へ配置
 各務原ライオンズクラブから防火映画フィルム1巻寄贈を受け消防本部へ配置
 昭和 56.1 元消防団長故長縄正光氏から消防操法大会用優勝旗1旒寄贈を受け消防本部へ配置
 救助工作車(日野K-FF172AA)購入、西消防署へ配置
 市消防協会事務局を警察署より移管
 昭和 56.3 超短波無線電話機(移動局10w)2基購入、南消防署救急車に取付
 (社)日本損害保険協会から救急自動車(トヨタ2B型)1台寄贈を受け南消防署へ配置
 昭和 56.4 消防ポンプ自動車(ニッサンBD-1型)購入、南消防署へ配置

昭和 56.5	5代消防長	左高 求	市福祉部長に選任のため解任
	6代消防長	後藤 達也	就任(前監査委員事務局局長兼選挙管理委員会事務局局長)
昭和 56.6			各務原クローバーライオンズより緊急用搬送車(トラック2トン)1台寄贈を受け東消防署へ配置
昭和 56.7			消防ポンプ自動車(ニッサンBD-1型)購入、南消防署に配置
			指令車(三菱K-T44)購入、南消防署へ配置
昭和 56.8			消防団員600名に消防団員制服甲種貸与
昭和 56.11			武市 隆一氏から小型動力消防ポンプ積載車1台、消防団班(那加東部班)へ寄贈を受ける
昭和 57.1			各務原市婦人防火クラブ設立
昭和 57.4	職員	1名増員	1名退職 実員 123名
昭和 57.7			超短波無線電話機(移動局10w)4基購入、東消防署資材搬送車(新規)、水槽付消防ポンプ車
			消防ポンプ自動車、救急自動車に取付
昭和 57.9			広報車(トヨタカローラ)1台購入、消防本部へ配置(更新)
			救急自動車(ニッサン2-B型)購入、西消防署へ配置(更新)
昭和 57.11			指令車(ニッサンV431GDF、自動現場指揮本部標識装置付)購入、西消防署へ配置(更新)
昭和 58.2			東消防署庁舎防音改造工事
	契	約	昭和57年10月7日
	工	期	自 昭和57年10月8日
			至 昭和58年2月14日
	設	計	株式会社 山清建築設計事務所
	施	行	天龍建設株式会社
	工	費	57,438 千円
	面	積	579.35 m ²
昭和 58.4	職員	1名退職	実員 122名
			各務原市幼年消防クラブ発足
			各務原市消防音楽隊32人編成で発足
			消防音楽隊に楽器具費の寄付、楽器具の寄贈を受ける。
			名鉄那加ショッピングセンター、ユニー各務原店、イトーヨーカドー各務原店、イズミヤ(株)各務原店
			各務原中央ビル(株)、リバー総業(株)、蘇原中央通り発展会、各務原市商店街振興組合連合会
			各務原那加本町通り商店街振興組合
昭和 58.6			消防音楽隊に楽器具費の寄付、楽器の寄贈を受ける。
			(株)三陽 長尾敏義、各務原ライオンズクラブ
昭和 58.7			ガス災害等対策用資機材6点購入、西消防署に配置
昭和 58.8			屈折はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール
昭和 58.9			今尾 善一郎氏から消防広報用ビデオ一式の寄贈を受ける。消防本部へ配置
昭和 58.11			耐震性貯水槽100m ³ (可搬式ポンプ付)新鷺沼台中央公園に設置
昭和 58.12			超短波無線電話機(移動局10w)3基購入、西消防署水槽付消防ポンプ車、化学消防車、
			東消防署指令車に取付(更新)
			超短波無線電話機(携帯局1w)2基購入、東消防署に配置(更新)
昭和 59.1			超短波無線電話機(車載型・携帯型)5基購入(更新)
昭和 59.2			消防音楽隊に制服の寄贈を受ける。
			(株)十六銀行、(株)大垣共立銀行
			水槽付消防ポンプ自動車(日野製-FD172AA水II型)1台購入、西署(更新)
			消防ポンプ自動車(いすゞ製P-TLD46)購入、西署(更新)
昭和 59.3			(有)柴山染工場より事務用機器(和文タイプライター)の寄贈を受ける。消防本部へ配置
昭和 59.4	職員	10名増員	3名退職 実員 128名
昭和 59.5			査察広報車(北)購入(更新)
昭和 59.6			各務原市消防団分団旗(8旒)購入
昭和 59.8			各務原市消防本部旗(西陣織)購入
			超短波無線電話機(移動局10w)1基購入
昭和 59.9	消防長	後藤 達也	退職
	7代消防長	今尾 弘幸	就任(前福祉部長)
昭和 60.3			東消防署みどり坂出張所(鷺沼支所出張所併設)開所式を執行
			各務原市鷺沼東町3丁目263番地
			庁舎明細
	構	造	鉄筋造平屋建(冷暖房設備付)
	契	約	昭和59年8月28日
	工	期	自 昭和59年8月29日
			至 昭和60年1月31日
	設	計	株式会社 新生建築設計
	施	工	建設工事 足立建設(株) 工賃 44,587千円
			電気設備工事 (株)各務原電気商会 工賃 13,212千円
			管、空調工事 (株)神田工業 工賃 8,142千円
	面	積	370.01 m ² (鷺沼支所出張所分100.8m ² を含む)

昭和 60.4 職員 6名増員 6名退職 実員 129名
 査察広報車(ダイハツアトレー)購入(西署更新)

昭和 60.8 (社)日本消防協会から救急自動車(トヨタ2B型)1台寄贈を受ける。西消防署に配置
 救急自動車(トヨタ2B型)購入、(北署更新)
 消防ポンプ自動車(いすゞ製CD-1型)購入(東署更新)

昭和 60.9 超短波無線電話機(車載型10w)1基購入、寄贈救急車に取付

昭和 60.11 消防発足20周年記念防火フェスティバル開催
 第47回全国消防長会技術委員会開催

昭和 61.1 水槽付消防ポンプ自動車(日野製、FD172BA水 I-A型)購入
 超短波無線電話機(車載型10w)1基購入、水槽付消防ポンプ車に取付
 超短波無線電話機(携帯局1w)2基購入、西消防署尾崎出張所に配置

昭和 61.3 東海北陸自動車道 救急業務開始

昭和 61.4 職員 7名増員 実員 135名
 西消防署尾崎出張所(市役所出張所併設)開所式を執行
 各務原市尾崎西町1丁目7番地の2
 庁舎明細

構	造	鉄筋造平屋建(冷暖房設備付)				
契	約	昭和60年10月12日				
工	期	自	昭和60年10月12日			
		至	昭和61年3月20日			
設	計	株式会社 新生建築設計				
		施	工	建設工事	沢井建設(株)	工賃 44,587千円
				電気設備工事	山口電気工事(株)	工賃 12,100千円
				管、空調工事	河合管工(株)	工賃 7,700千円
面	積	379.5 m ² (市役所出張所分116.4m ² を含む)				

昭和 61.8 査察広報車(ダイハツアトレー)購入(東署更新)
 (社)日本消防協会から緊急広報車(日産ブルーバード)1台寄贈を受ける。消防本部に配置
 救急自動車(トヨタ2B型)購入、(東署更新)

昭和 61.9 (社)日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車(日野製)1台寄贈を受ける。東消防署に配置

昭和 61.10 水槽付消防ポンプ自動車(日野製FD172BA水 I-A型、高圧ポンプ)購入(北署更新)

昭和 61.11 (財)日本防火協会から防火広報車(トヨタ)1台寄贈を受ける。消防本部に配置

昭和 61.12 超短波無線受令機(ゼネラル)22台購入

昭和 62.4 職員 1名退職 実員 134名

昭和 62.5 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ製、水1A高圧ポンプ)1台購入(みどり坂出張所更新)
 査察広報車(ダイハツアトレー)購入(南署更新)
 超短波無線電話機(車載型10w)6基購入(更新)
 超短波無線電話機(携帯型1w)2基購入(北署更新)
 消防団員全員(600名)に夏制服を貸与(更新)

昭和 62.8 消防長 今尾 弘幸 商工会へ出向のため解任
 8代消防長 松井 徹己就任(前下水道部次長)

昭和 62.12 消防用サイレン吹鳴制御装置(富士通ゼネラル)10カ所設置

昭和 63.3 消防訓練塔(北署)

構	造	鉄骨造り		
契	約	昭和62年10月6日		
工	期	自	昭和62年10月6日	
		至	昭和63年2月29日	
設	計	株式会社 大名建築設計事務所		
		施	工	横山建築株式会社
工	費			22,800 千円
面	積	176.09 m ²		

昭和 63.4 職員 1名退職 1名出向 実員 132名

昭和 63.5 査察広報車(ダイハツアトレー)2台購入、みどり坂・尾崎出張所に配置

昭和 63.7 超短波無線機(車載型10w)1基購入、査察広報車に取付

昭和 63.10 消防ポンプ自動車(ニッサンBD-1)購入(北署更新)
 超短波無線受令機(ゼネラル製)150台購入

昭和 63.11 岐阜県消防らっぱ競練会、消防大会を開催
 消防団員用防火衣100着購入

平成 元.4 職員 3名増員 1名退職 実員 134名
 各務原市少年防火クラブ発足

平成 元.10 機構改革により警防指令課新設、これに伴い通信室も開室(通信業務集中管理)

平成 元.11 化学消防ポンプ自動車(いすゞ製P-FRR12FAV,A-2級)購入(西署更新)
 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ製P-FRR12FAV,A-2級)購入(東署更新)

平成 元.12 消防情報テレホンサービス業務開始(応答専用装置10回線)

	指令車(トヨタマスターエースワゴン)2台購入(東、北署更新)				
	超短波無線電話機(車載型10w)1基購入(北署更新)				
	超短波無線電話機(携帯型1w)2基購入(本部、西署更新)				
平成 2.3	消防本部兼西消防署庁舎増改築工事				
	契 約 平成元年7月25日				
	工 期 自 平成元年7月26日				
	至 平成2年3月20日				
	設 計 株式会社 大名建築設計事務所				
	施 工 建設工事 天龍建設(株)	工賃	122,055千円		
	機械設備工事 小木曾設備工業(株)	工賃	20,896千円		
	電気設備工事 (株)ウヌマ電業	工賃	18,993千円		
	面 積 1階 206.568 m ²				
	2階 219.875 m ²				
	計 426.443 m ²				
平成 2.4	職員 6名増員 2名退職 実員 138名				
平成 2.11	自家発電設備更新				
	各務原市那加桜町1丁目69番地(消防本部及び西消防署庁舎北側)				
	構 造 鉄筋コンクリート造平屋建				
	契 約 平成2年7月12日				
	工 期 自 平成2年7月13日				
	至 平成2年11月30日				
	設 計 株式会社 大名建築設計事務所				
	施 工 株式会社 ウヌマ電業				
	工 費 13,828 千円				
	面 積 17.5 m ²				
	発電容量 35KVA 発電電圧 220V 発電電流 91.9A				
平成 3.3	消防緊急情報システム設置工事				
	契 約 平成2年6月12日				
	工 期 自 平成2年7月3日				
	至 平成3年3月18日				
	施 工 中央電子光学株式会社				
	工 費 152,955 千円				
	指令装置 1式(署所端末装置6式)、表示盤 1式、無線統制台 1台				
	自動出動指定装置 1式、指令電送装置 1式(指令電送出力装置6台)				
	地図等検索装置 1式、気象情報収集装置 1式、電子式自動電話交換装置 1式				
	車両動態管理装置 1台(車両動態端末装置37台)、作戦統制台 1台				
	自動順次指令装置 1式、支援情報表示盤 1式、車両状況表示装置 4面、拡張台 2台				
平成 3.4	職員 5名増員 1名退職 実員 142名				
平成 3.5	各務原市危険物安全協会創立20周年記念祝賀会開催				
平成 3.9	消防広報車(本部 更新)				
平成 3.9	救急自動車(西消防署 更新)				
平成 3.11	はしご付消防自動車45m(西消防署) 122,982千円				
平成 4.3	水槽付消防ポンプ自動車(南消防署 更新)				
	消防ポンプ自動車(南消防署 更新)				
平成 4.4	消防長 松井 徹己 退職				
	9代目消防長 仲 弘智就任(前建設部次長)				
	職員 6名増員 5名退職 実員 143名				
	無線サイレン吹鳴受信器購入(市内4カ所)				
平成 4.5	水利点検用単車(尾崎出張所 更新)				
	消防情報テレホンサービス(応答専用装置20回線)増設				
平成 4.9	各務原市婦人防火クラブ創立10周年記念大会開催				
平成 4.10	査察車(西消防署 更新)				
平成 4.12	救急自動車(東消防署 更新)				
	指令車(南消防署 更新)				
	資機材搬送車(東消防署 更新)				
平成 5.3	無線基地局購入(市波、県波更新)				
平成 5.4	職員 9名増員 実員 152名				
平成 5.7	機構改革により警防指令課を警防課と指令課の2課に分離				
平成 5.9	無線サイレン吹鳴受信器購入(市内6カ所)				
	各務原市消防音楽隊創立10周年記念演奏会				
平成 5.11	幼年消防発足10周年記念開催				
平成 6.2	高規格救急車(西消防署) 36,627千円				

平成 6.3	北消防署救急救助資機材倉庫建設用地買収		
平成 6.4	7代消防団長 川島 勝弘就任		
平成 6.5	査察車(東消防署 更新)		
平成 6.6	各務原市消防スクーバ隊発足		
平成 6.7	救急自動車更新(南消防署 更新)		
	救急自動車更新(北消防署 更新)		
平成 6.11	消防ポンプ自動車1台購入(西署更新)		
平成7.1.17~1.20	阪神・淡路大震災第一次派遣(人員5名、水槽付消防ポンプ自動車1台)		
平成7.1.19~1.23	" 第二次派遣(人員5名、水槽付消防ポンプ自動車1台)		
平成7.1.22~1.23	" 第三次派遣(人員5名、水槽付消防ポンプ自動車1台)		
平成7.2.7~2.11	" 第四次派遣(人員3名、水槽付消防ポンプ自動車1台)		
平成7.2.15~2.19	" 第五次派遣(人員3名、水槽付消防ポンプ自動車1台)		
平成 7.3	北消防署救急救助資機材倉庫建設		
平成 7.4	消防長 仲 弘智 都市計画部長選任のため解任		
	10代消防長 三瓶 準一就任(前市民課次長兼課長)		
	職員 5名増員 3名退職 実員 157名		
平成 7.8	多目的探索用機器一式購入(西署)大型油圧救助器具購入 3,492千円		
平成 7.10	ファイバースコープ一式購入(西署) 5,646千円		
	化学防護服(6着)購入(西署) 3,492千円		
平成 7.12	救助工作車(東署 新規) 59,225千円		
	緊急援助隊旗の交付を受ける		
平成 8.4	職員 3名増員 1名退職 実員 159名		
平成 8.7	インパルス消火システム二式購入 2,950千円		
平成 8.11	岐阜県緊急消防援助隊合同訓練参加		
	エアータント一式購入 3,700千円		
平成 9.1	水槽付消防ポンプ自動車(西消防署 更新) 27,244千円		
平成 9.3	緊急広報車(本部 更新) 5,511千円		
平成 9.4	消防長 三瓶 準一 退職		
	11代消防長 三上 博也就任(前消防次長兼総務課長) 定員158名		
平成 9.8	第46回岐阜県消防操法大会を開催(那加中学校)		
平成 9.11	水防車(本部 更新) 4,200千円		
	岐阜県緊急消防援助隊合同訓練参加(西濃ブロック)		
	岐阜冠婚葬祭互助会から広報車1台寄贈を受ける		
平成 9.12	救急波トーンスケルチ増設		
	職員 1名退職 実員 157名		
平成 10.4	8代消防団長 岩永 浩二就任		
平成 10.6	各務原ロータリークラブよりレサシアン3体寄贈を受ける		
平成 10.10	岐阜県緊急消防援助隊合同訓練参加(西濃ブロック)		
	移動体通信119番代表分散受信方式運用開始		
平成 11.3	屈折はしご付消防ポンプ自動車20m(東消防署 更新)		
	各務原中央ロータリークラブより心肺蘇生法トレーニング教材2体寄贈を受ける		
平成 11.12	職員 1名退職 実員 156名		
	国際ソロプチミストかかみ野より心肺蘇生法トレーニング教材一式寄贈を受ける		
平成 12.1	水槽付消防ポンプ自動車(西消防署尾崎出張所 更新)		
	消防ポンプ自動車(東消防署 更新)		
平成 12.4	消防長 三上 博也 退職		
	12代消防長 加藤 幸雄就任(前福祉部長)		
	職員 3名増員 1名出向 実員 158名		
	9代消防団長 古田 敏夫就任		
	全国消防長会東海支部総会開催		
平成 12.12	消防緊急情報システム部分更新工事完了		
平成 13.2	各務原市危険物安全協会より心肺蘇生法トレーニング教材一式寄贈を受ける		
平成 13.3	水槽付消防ポンプ自動車(北消防署 更新)		
平成 13.4	各務原かかみのロータリークラブより心肺蘇生法トレーニング教材一式寄贈を受ける		
平成 13.5	各務原市危険物安全協会創立30周年記念祝賀会開催		
平成 13.9	はしご付消防自動車オーバーホール		
平成 13.10	高規格救急車(東消防署 更新)		
平成 14.2	救助工作車(西署 更新)		
平成 14.4	消防長 加藤 幸雄 退職		
	13代消防長 飯沼一義就任(前市民生活部長)		
	職員 3名退職 実員 156名		
	東消防署みどり坂出張所救急業務開始		
平成 14.9	広報車(本部 更新)		

平成 14.11	各務原市女性防火クラブ発足20周年記念大会 各務原ライオンズクラブより心肺蘇生法トレーニング教材一式寄贈を受ける 現場指揮車(メガクルーザー)寄贈を受ける			
平成 15.1	水槽付消防ポンプ自動車(東消防署みどり坂出張所 更新)			
平成 15.2	化学車(東消防署 更新)			
平成 15.4	職員 4名増員 2名退職	実員	158名	
平成 15.7	高規格救急自動車(北消防署 更新)			
平成 15.11	各務原市消防ボランティア隊発足 各務原市危険物処理サポート隊発足			
平成 15.12	ミニ消防車「レスQちゃん」購入			
平成 16.1	各務原市幼年消防クラブ発足20周年記念大会			
平成 16.2	高規格救急自動車(西消防署 更新)			
平成 16.4	消防長 飯沼 一義 水道部長選任のため解任 14代消防長 梶浦信雄就任(前消防次長兼総務課長)			
	職員 4名増員 3名退職	実員	158名	
	西消防署尾崎出張所救急業務開始			
平成 16.7	職員 1名退職	実員	157名	
平成 16.11	羽島郡川島町と合併(消防団員720名) 川島地区サイレン吹鳴用同報無線遠隔装置移設			
	職員 1名増員	実員	158名	
平成 16.12	北消防署庁舎耐震補強及び改修工事完了 施 工 日鋼建設株式会社 工 費 25,014千円			
平成 17.1	IP電話(インターネット)緊急通報(119)受信開始			
平成 17.4	西消防署川島分署開設・業務開始 職員 5名増員 2名退職			
	羽島郡より移行職員17名増員	実員	178名	
	少年消防クラブ(川島地区)1団体加入 幼年消防クラブ(川島地区)3団体加入			
平成 17.5	岐阜県女性防火クラブ40周年記念大会当市で実施			
平成 17.11	消防ボランティア隊300人達成記念式典			
平成 17.12	宝くじ助成金で訓練用水消火器57本購入			
平成 18.1	携帯119番直接受信開始			
平成 18.3	消防本部・西消防署庁舎耐震補強及び増改築工事完了(竣工式) 設 計 大建設計株式会社 施 工 建設工事 天龍建設(株) 工賃 185,229千円 機械設備工事 安田(株) 工賃 68,040千円 電気設備工事 伸栄電設(株) 工賃 48,300千円			
	耐震補強工事及び増改築工事完了に伴い古田敏夫団長、各務原市消防協会、 各務原市危険物安全協会、纏会、女性防火クラブより寄贈を受ける			
平成 18.4	10代消防団長 牧田光宏となる 職員 7名増員 7名退職	実員	178名	
平成 18.12	水槽付消防ポンプ自動車(東消防署 防衛庁補助 更新)			55,944千円
	水槽付消防ポンプ自動車(西消防署川島分署 防衛庁補助 更新)			
平成 19.3	高規格救急自動車(東消防署みどり坂出張所 更新) 14,910千円 南消防署庁舎耐震補強及び改修工事完了 設 計 奥村設計事務所 施 工 建設工事 足立建設(株) 工賃 22,417千円 機械設備工事 (株)サンワ空調 工賃 10,299千円 電気設備工事 酒井電気工業(株) 工賃 9,387千円			
平成 19.4	消防長 梶浦 信雄 退職 15代消防長 關 邦明就任(前消防本部参与)			
	職員 7名増員 7名退職	実員	178名	
平成 19.12	高規格救急自動車(南消防署 総務省補助 更新) 42,840千円			
	高規格救急自動車(西消防署尾崎出張所 更新)			
平成 20.3	東消防署車庫耐震補強工事完了 施 工 有限会社 澤井産業 工 費 8,030千円			
平成 20.4	職員 3名増員 4名退職	実員	177名	
	機構改革により警防課を救急警防課に改名 課内に救急室長をおく 各務原市消防団員定数700名に条例改正 実員699名			
平成 20.5	査察車(西消防署尾崎出張所 更新) 査察車(東消防署みどり出張所 更新)			

平成 20.12	化学車(西消防署 更新)				
平成 21.4	消防長 關 邦明 退職				
	16代消防長 横山 鈺一就任(前消防次長兼総務課長)				
	各務原市消防団員定数720名に条例改正 実員710名				
	職員 3名増員 10名退職 1名異動	実員	169名		
平成 21.5	職員 2名退職	実員	167名		
平成 21.8	査察車(西消防署 更新)				
平成 21.10	指令車(東消防署 更新)				
平成 22.1	職員 1名退職	実員	166名		
平成 22.3	高規格救急自動車(南消防署 更新)				
	東消防署耐震補強及び改修工事完了				
平成 22.4	職員 6名増員 2名退職	実員	170名		
	機構改革により西消防署を西部方面消防署に変更				
	西消防署川島分署を西部方面消防署川島分署に変更				
	西消防署尾崎出張所を西部方面消防署尾崎出張所に変更				
	南消防署を西部方面消防署南出張所に変更				
	東消防署を東部方面消防署に変更				
	北消防署を東部方面消防署北分署に変更				
	東消防署みどり坂出張所を東部方面消防署みどり坂出張所に変更				
平成 23.1	職員 1名死去	実員	169名		
平成23.3.11~3.14	東日本大震災第一次派遣(人員8名(内3名、後方支援)、水槽付消防ポンプ自動車1台、搬送車1台)				
平成23.3.14~3.17	" 第二次派遣(人員8名(内3名、後方支援)、水槽付消防ポンプ自動車1台、搬送車1台)				
平成23.3.17~3.20	" 第三次派遣(人員6名(内3名、後方支援)、救急自動車1台、搬送車1台)				
平成23.3.20~3.23	" 第四次派遣(人員6名(内3名、後方支援)、救急自動車1台、搬送車1台)				
平成23.3.28~4.1	" 第七次派遣(人員5名、救助工作車1台)				
平成 23.4	消防長 横山 鈺一 退職				
	17代消防長 五島 伸治就任(前環境部長)				
	職員 7名増員 9名退職 1名市役所他部局から出向	実員	168名		
平成 23.8	査察車(東部方面消防署、東部方面消防署北分署 更新)		2,372千円		
平成 23.11	高規格救急自動車(東部方面消防署 更新)		27,933千円		
平成 24.3	消防訓練用夜間照明設置(市内小学校)		19,614千円		
	小型動力ポンプ付水槽車 II型(西部方面消防署 新規)		38,519千円		
平成 24.3	職員 1名退職	実員	167名		
平成 24.4	11代消防団長 奥村 政広就任				
	職員 9名増員 7名退職	実員	169名		
平成 24.6	消防資機材搬送車(西部方面消防署川島分署 新規)		7,867千円		
平成 24.7	職員 1名死去	実員	168名		
平成 24.8	職員 1名退職	実員	167名		
平成 24.10	職員 1名退職	実員	166名		
	連絡車購入(消防本部 更新)		1,678千円		
平成 24.11	各務原市女性防火クラブ発足30周年記念大会				
平成 25.1	救助工作車(東部方面消防署 更新)		99,754千円		
	東部方面消防署北分署訓練塔改修工事				
	契 約 平成24年6月1日				
	工 期 自 平成24年6月1日				
	至 平成25年1月31日				
	設 計 YAS設計室				
	施 工 マルト後藤建設株式会社				
	工 費 9,510 千円				
平成 25.2	職員 1名退職	実員	165名		
平成 25.4	消防長 五島 伸治 総務部長就任のため解任				
	18代消防長 足立 全規就任(前環境水道部長)				
	職員 10名増員 7名退職 1名市役所他部局へ帰任				
	1名市役所他部局から出向	実員	168名		
	各務原市消防団員定数730名に条例改正 実員721名				
	高機能消防指令システム更新				
	契 約 平成24年8月17日				
	工 期 自 平成24年8月17日				
	至 平成25年3月29日				
	施 工 中央電子光学株式会社				
	工 費 330,750 千円				
平成 25.6	職員 1名死去	実員	167名		

平成 25.10	市制50周年・第40回 各務原市消防操法記念大会 消防長 足立 全規 産業文化部参与就任のため解任 19代消防長 神谷 義春就任(前救急指令課長) 職員 1名市役所他部局へ帰任 実員 166名
平成 25.12	各務原市幼年消防クラブ発足30周年記念 防火祭
平成 26.1	資機材搬送車(東部方面消防署 更新) 12,372千円 高規格救急自動車(東部方面消防署北分署 更新) 28,353千円 高規格救急自動車(西部方面消防署川島分署 更新) 28,353千円
平成 26.3	西部方面消防署尾崎出張所屋上防水改修工事 契 約 平成25年12月13日 工 期 自 平成25年12月13日 至 平成26年3月14日 施 工 沢井建設株式会社 工 費 4,935 千円 消防救急デジタル無線整備工事 契 約 平成25年6月27日 工 期 自 平成25年6月27日 至 平成26年3月31日 施 工 中央電子光学株式会社 工 費 231,000 千円
平成 26.4	職員定数改正 190名 職員 10名増員 7名退職 実員 169名
平成 26.6	12代消防団長 植村 晃雄 就任 各務原市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を改正
平成 26.7	消防団員725名に救助用半長靴(コンバット)貸与 職員 1名退職 実員 168名
平成26.10.14~10.16	消防団各班に雨天災害活動用合羽及び簡易救助器具(パール、のこぎり等)貸与
平成26.10.16~10.17	御嶽山噴火に伴う緊急消防援助隊第一次派遣(人員8名(内2名後方支援)、救助工作車1台)
平成 27.1	御嶽山噴火に伴う緊急消防援助隊第二次派遣(人員7名(内2名後方支援)、救助工作車1台) はしご付消防自動車45m(西部方面消防署 更新) 180,906千円 消防庁舎屋上防水等改修工事 契 約 平成26年10月1日 工 期 自 平成26年10月1日 至 平成27年10月16日 設 計 YAS設計室 施 工 足立建設株式会社 工 費 18,786 千円
平成 27.2	緊急査察広報車(西部方面消防署川島分署、南出張所更新) 4,480千円
平成 27.3	消防ポンプ自動車(西部方面消防署 更新) 35,428千円
平成 27.4	職員 8名増員 2名退職 1名再任用 1名市役所他部局から出向 実員 176名
平成 27.6	各務原市消防団条例を改正(消防団員報酬及び費用弁償の一部増額)
平成 27.12	各務原市消防団本部女性部を女性分団へ昇格
平成 28.1	西部方面消防署川島分署 新築
平成 28.3	水槽付消防ポンプ自動車(西部方面消防署南出張所 更新) 53,356千円 職員 1名退職 実員 175名 西部方面消防署南出張所発電機更新工事 契 約 平成27年11月12日 工 期 自 平成27年11月12日 至 平成28年3月11日 設 計 YAS設計室 施 工 安田電機暖房株式会社各務原出張所 工 費 7,668 千円 東部方面消防署北分署庁舎外壁等改修工事 契 約 平成27年10月29日 工 期 自 平成27年10月29日 至 平成28年2月29日 設 計 ドゥ・プランニング 施 工 長縄産業株式会社 工 費 25,951 千円
平成 28.4	消防長 神谷 義春 再任用退職 20代消防長 永井 覚 就任(前消防本部次長兼総務課長) 職員 10名増員 5名退職 1名再任用退職

		1名市役所他部局へ帰任		1名市長公室防災対策課へ出向	
				実員	177名
平成 28.5	職員	1名退職		実員	176名
平成 28.11		水槽付消防ポンプ自動車(西部方面消防署 更新)	55,085千円		
平成 28.12		高規格救急自動車(東部方面消防署みどり坂出張所 更新)	29,272千円		
平成 29.1		機能別消防団発足(東海学院大学15名、中部学院大学15名 計30名)			
平成 29.1		緊急査察広報車(東部方面消防署北分署 更新)	2,050千円		
平成 29.2		東部方面消防署みどり坂出張所外壁等改修工事			
	契	約	平成28年10月27日		
	工	期	自平成28年10月27日		
			至平成29年2月28日		
	設	計	Y. K設計工房		
	施	工	沢井建設株式会社		
	工	費	6,368千円		
平成 29.4	職員	9名増員	7名退職	実員	178名
	職員	1名退職		実員	177名
平成 29.9	職員	1名退職		実員	176名
平成 29.10		消防ポンプ自動車(西部方面消防署川島分署 総務省補助 更新)	36,401千円		
		緊急査察広報車(消防本部 更新)	2,100千円		
平成 29.11		高規格救急自動車(西部方面消防署 総務省補助 更新)	29,812千円		
平成 29.12		災害支援車(消防本部 更新)(市長公室防災対策課所有のプラドを移管され緊急車両へ艀装する)			
平成 30.3		指揮支援車(消防本部 更新)	4,500千円		
平成 30.4	消防長	永井 覚	再任用退職		
	21代消防長	横山 元彦	就任(前消防本部次長兼総務課長)		
	職員	5名増員	6名退職	1名再任用退職	
		1名市長公室防災対策課から帰任		1名市長公室防災対策課へ出向	
				実員	177名
		13代消防団長	木野村 文彦 就任		
平成 30.10		連絡車(消防本部 更新)	1,666千円		
平成 30.12	職員	1名退職		実員	176名
平成 31.1		救助工作車(西部方面消防署 防衛省補助 更新)	122,908千円		
平成 31.2		高規格救急自動車(西部方面消防署尾崎出張所 更新)	29,811千円		
平成 31.4	職員	3名増員	退職 2名	実員	177名
令和 2.1		水槽付消防ポンプ自動車(東部方面消防署北分署 防衛省補助 更新)	56,478千円		
令和 2.3		消防ポンプ自動車(東部方面消防署北分署 防衛省補助 更新)	37,943千円		
令和 2.3	職員	1名岐阜県消防学校から帰任		1名防災航空隊から帰任	
	職員	1名市長公室防災対策課から帰任			
令和 2.4	職員	1名退職		実員	176名
	職員	1名岐阜県消防学校へ出向		1名防災航空隊へ出向	
	職員	1名市長公室防災対策課へ出向			
令和 2.6	職員	1名退職		実員	175名
令和 2.12		水槽付消防ポンプ自動車(西部方面消防署尾崎出張所 防衛省補助 更新)	58,931千円		
令和 3.1		高規格救急自動車(西部方面消防署南出張所 更新)	29,736千円		
令和 3.3		東部方面消防署ホース乾燥塔新設	19,360千円		
	契	約	令和2年11月26日		
	工	期	自令和2年11月26日		
			至令和3年3月31日		
	設	計	大建設計株式会社 各務原事業所		
	施	工	長縄産業株式会社		
	工	費	19,360千円		